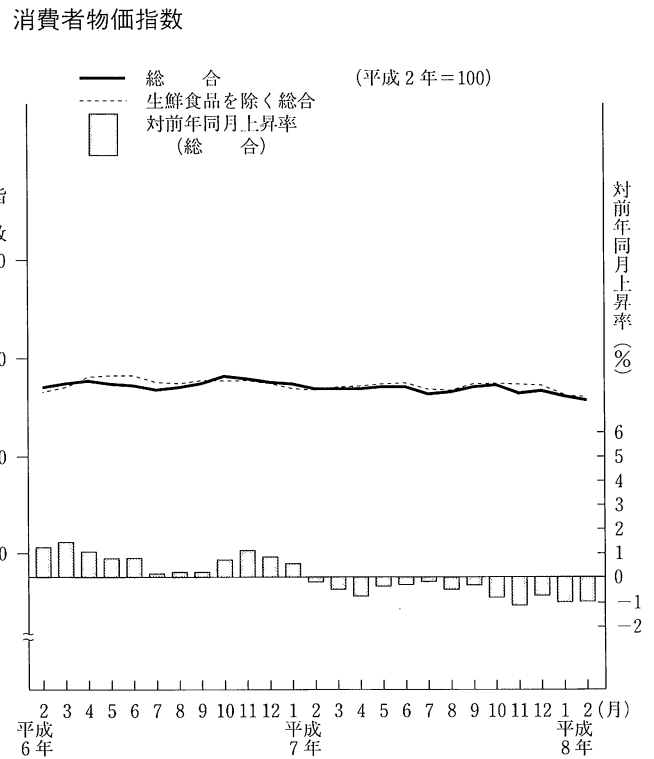
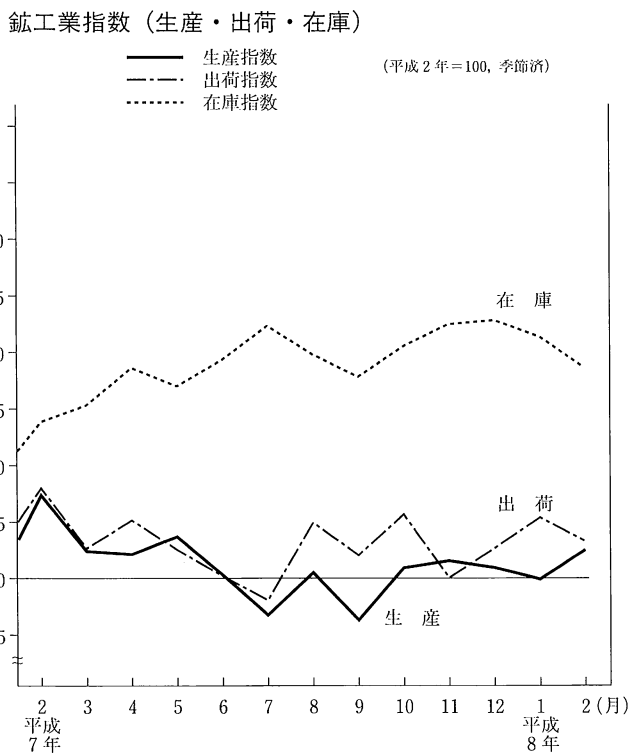
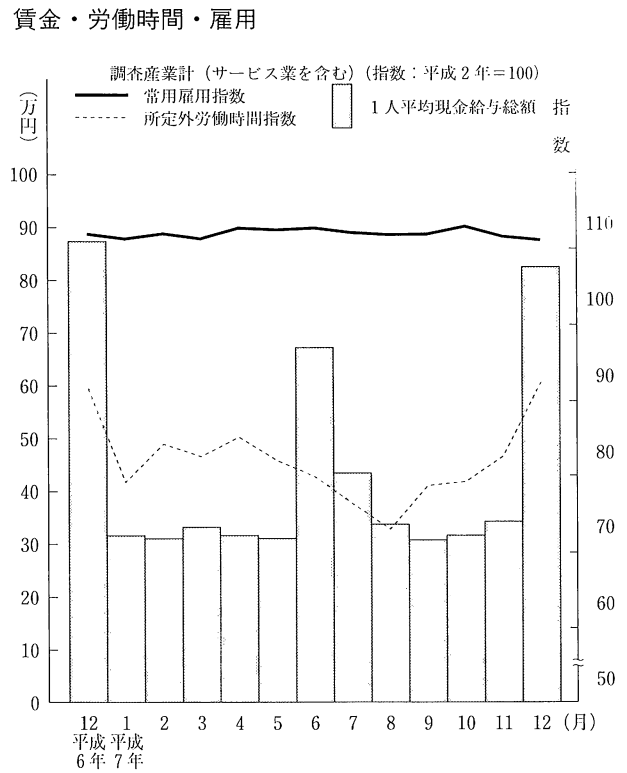
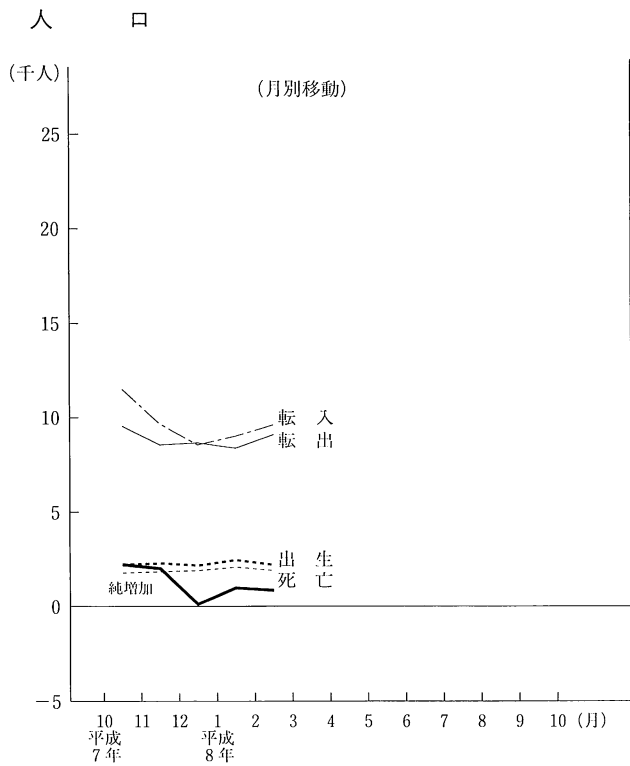


今月の主な動き



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口（3月1日）

本県の人口は、2月中に846人増加し、3月1日現在で、2,961,751人（男1,479,556人、女1,482,195人）となった。

内訳は、自然動態で、318人（出生2,206人、死亡1,888人）増加し、社会動態で、528人（転入9,632人、転出9,104人）増加した。前年同月と比べると5,005人（0.2%）の増加で

ある。

市町村別では、増加が14市36町村、減少が6市28町村、増減なしが1村である。

世帯数についても2月中に、617世帯増加し、926,991世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用（12月）

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で821,860円、対前年同月比5.7%減、このうち、きまって支給する給与は305,132円、対前年同月比もちあいであった。また、このうち、所定内給与は275,232円、対前年同月比0.3%減であり、超過労働給与は29,900円、対前年同月比3.3%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比4.5%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。
平成8年1月分の速報値は、平成8年抽出替えに伴うギャップを修正した後、公表の予定です。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で165.3時間、対前年同月比0.5%増であった。このうち、所定内労働時間は149.4時間、対前年同月比0.5%増、所定外労働時間は、15.9時間、対前年同月比もちあいであった。

3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.2%減であった。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（2月）

本県における平成8年2月の“鉱工業指数”（平成2年=100）は、季節調整済指数で、生産が102.4、出荷が103.4、在庫が117.5で、前月比は、生産が2.6%の上昇、出荷が1.8%の低下、在庫が3.2%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が4.7%の低下、出荷が4.4%の低下、在庫が3.4%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、プラスチック製品工業、非鉄金属工業等が上昇し、パルプ・紙・紙加工品工業、一般機械工業、繊維工業等が低下した。出荷で

は、鉱業、化学工業、金属製品工業等が上昇し、一般機械工業、精密機械工業、電気機械工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、非鉄金属工業、電気機械工業等が、上昇し、鉱業、精密機械工業、石油・石炭製品工業等が低下した。

財別にみると、生産では、非耐久消費財、資本財等が上昇し、耐久消費財が低下した。出荷では、非耐久消費財、鉱工業用生産財が上昇し、耐久消費財、その他用生産財等が低下した。在庫では、すべて低下した。

■消費者物価指数（2月）

平成8年2月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で105.8（平成2年=100）となり、前月比0.5%の下落、前年同月比1.0%の下落となった。

今月の上がった主な項目……設備修繕・維持1.3%、穀類1.0%、油脂・調味料1.0%

今月の下がった主な項目……果物10.9%、シャツ・下着5.0%、衣料3.9%

生鮮食品を除く総合は106.1となり、前月比0.3%の下落、前年同月比0.7%の下落であった。

■費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率 (%)		区 分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	105.8	△0.5	△1.0	保健医療	103.0	0.1	0.4
食料	104.6	△0.7	△2.6	交通通信	98.4	△0.2	△1.1
住居	117.3	0.4	1.0	教育	116.8	0.0	2.5
光熱・水道	101.3	△0.1	△1.2	教養娯楽	107.7	△0.3	△2.1
家具・家事用品	94.9	△0.1	△2.6	諸雑費	105.1	0.3	0.1
被服及び履物	102.8	△3.5	△0.6	生鮮食品を除く総合	106.1	△0.3	△0.7